

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
計画の実施に向けた推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載
している内容

本計画の推進、実施にあたっては、甲州市教育委員会文化財課歴史まちづくり担当に引き続き事務局を置き、庁内関係各課で連携を取りながら連絡調整を行い、国や県の関係機関と協議して適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条に基づく「甲州市歴史的風致維持向上協議会」において、計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

教育委員会文化財課が中心となって、関係各課との連絡調整を図り各事業の推進について検討した。令和元年度については歴史的風致維持向上協議会会議、並びに庁内ワーキンググループ会議は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。

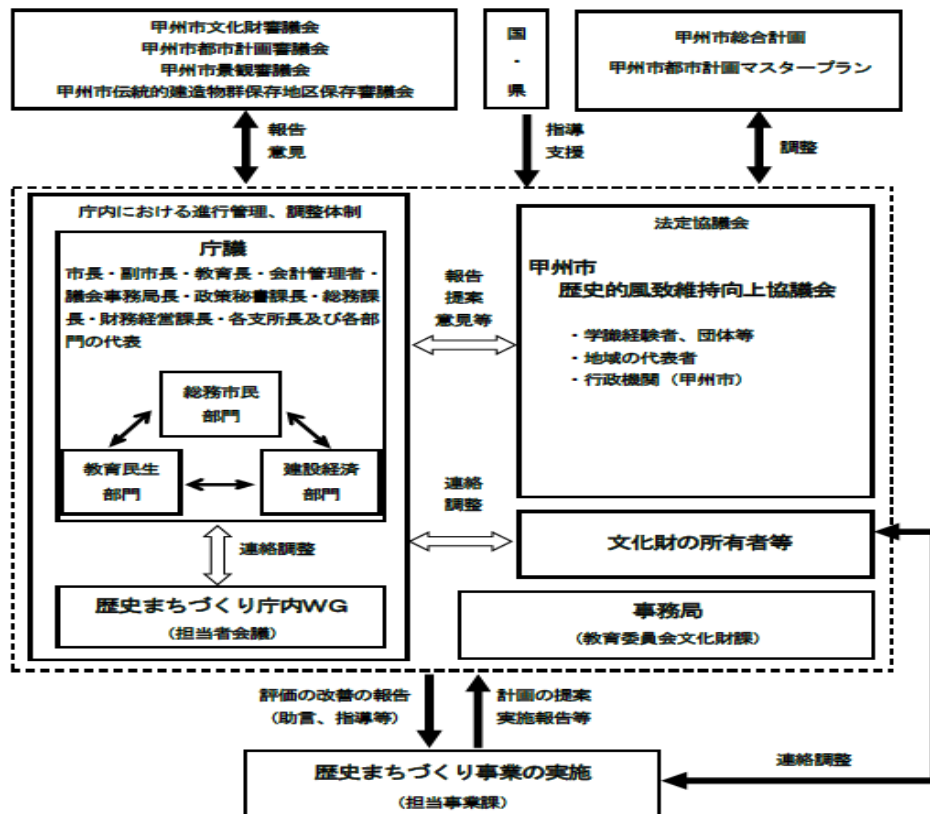
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

各事業の細部のすり合わせについて、今後も担当事業課との協議と連携を密に行い調整する。

状況を示す写真や資料等



甲州市歴史的風致維持向上協議会
○令和元年度は実施なし

歴史まちづくり庁内WG
○令和元年度は実施なし。

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
甲州市景観計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

本市の景観計画は、市民生活や産業構造の変化に対する景観的課題の顕在化に対応し、本市の景観政策の充実と向上を図ることにより、本市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「果樹園と歴史・文化が織りなす魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定しており、景観形成のため6つのゾーン区分を設定して、それぞれのゾーンにおける景観形成の方向性を定めている。また、景観形成重点地区に設定されている地区はまだないが、候補地の多くが甲州市の歴史的風致と重なり、あるいは関係性があるため、事業展開に併せ景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努めると共に、屋外広告物の制限についても、甲州市独自の屋外広告物条例の設置に努めていく。

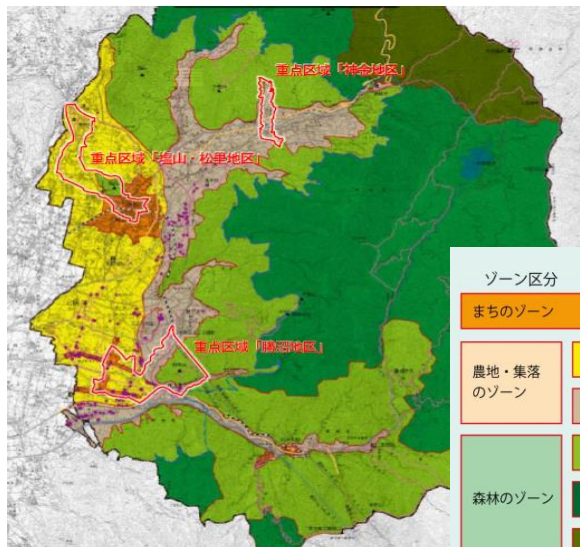
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、景観計画に基づく「届出対象行為」に該当する全ての建築・工作物について「甲州市色彩景観づくりの手引き」により色彩の制限を設けた。これにより事業者に対し景観への色彩基準や誘導基準による色の選び方や使い方などの啓発を行い、新築または建て替え物件についてはほぼ100%の理解を得ている。また色彩による景観形成の一環として、本市に数多く点在する果樹園に使用する防風ネット等の資材に対し「甲州市自然色ネット等資材購入補助金交付要綱」を定め、自然色の資材を購入する者に3万円を上限とした(補助率50%)補助事業を実施している。

(令和元年度実績:12件 市補助金額140,480円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■「甲州市景観計画」に掲げたゾーン区分

甲州市景観形成ゾーン区分

ゾーン区分	詳細区分	ゾーンの特徴
まちのゾーン		都市機能や住宅が集積している区域
農地・集落のゾーン	平地農地・集落ゾーン	盆地の平坦部に立地する農地とそこにある集落
	里山農地・集落ゾーン	山裾や小丘の傾斜地に立地する農地とそこにある集落
森林のゾーン	里山森林ゾーン	集落に近く市民のレクリエーションの場になる小丘や山林
	山岳森林ゾーン	集落から離れた自然豊かな山林
	自然公園ゾーン	自然公園法により規制のある区域

汎用的なブルーの防風ネット



補助対象となる自然色の防風ネット



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金		
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区の歴史的建造物の保存・活用を図るため、建造物等の買上げや修理・修景などを行い、歴史的景観の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和元年度は、修理の要望が無かったため整備事業は未実施であるが、伝建地区内の住民とのコミュニケーションを密にとり、要望が挙がった際には即時事業が進捗できるように準備を進めた。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
旧宮崎葡萄酒醸造所(宮光園)保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成21年度～ 令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 甲州市近代産業遺産「宮光園」について、これまで主屋、白蔵、離座敷などの修理を終えているが、東三番蔵など未修理の附属屋が残るため、保存修理を行い屋敷構えを整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宮光園の保存・修理事業については、主屋、白蔵、文庫蔵・道具蔵・離れ座敷、庭園等の事業が平成27年度までに完成しているが、東三番蔵などの未修理の附属屋が残っており、これらの修理工法や敷地の活用方法などの方向性について検討を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	敷地内建物の価値づけの見直しを行っており、今後の評価を検討している。評価が決まるまでは、現状維持に努めていく。

状況を示す写真や資料等

未修理の建物



【 第一醸造所葡萄酒貯蔵庫 】



【 東三番蔵解体跡 】

甲州市近代産業遺産宮光園施設利用状況

宮光園入館者数 年度別集計表

28年度				29年度				30年度				31年度			
月	日数	入館者	日平均	日数	入館者	日平均		日数	入館者	日平均		日数	入館者	日平均	
4	26	409	15.7	26	787	30.3		26	793	30.5		25	606	24.2	
5	26	658	25.3	26	964	37.1		26	888	33.0		26	902	34.7	
6	26	330	12.7	26	881	33.9		26	561	21.5		26	742	28.5	
7	27	878	32.5	29	712	24.6		26	504	19.4		25	568	22.7	
8	27	579	21.4	26	1,246	47.9		27	1,552	57.5		26	879	33.8	
9	26	937	36.0	26	1,478	56.8		26	6,160	236.9		24	1,025	42.7	
10	28	2,068	73.9	28	2,825	100.9		26	2,409	92.7		24	614	25.6	
11	25	1,240	49.6	27	2,829	104.8		27	1,558	57.7		24	794	33.1	
12	25	387	15.5	23	511	22.2		23	261	11.3		23	384	16.7	
1	23	244	10.6	23	421	18.3		23	275	11.9		22	212	9.6	
2	24	297	12.4	24	1,028	42.8		25	424	17.0		23	328	14.3	
3	27	588	21.8	27	962	35.6		27	598	22.1		7	61	8.7	
計		308	8,315	27.0	311	14,644	47.1	308	15,953	51.8		275	7,115	25.9	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
史跡勝沼氏館跡保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～ 令和8年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)

計画に記載している内容 史跡勝沼氏館跡について、整備完了後の経年劣化による修理必要箇所や、未発掘用地、未買収用地があるため、計画的に再整備を実施するほか、土地の公有化、発掘調査などを実施し整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡勝沼氏館跡の遺構説明板を6基設置した。うち2基については既存の説明板の劣化が著しく読むことが困難となっていたため、内容を再検討して新たに設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

説明板設置工事



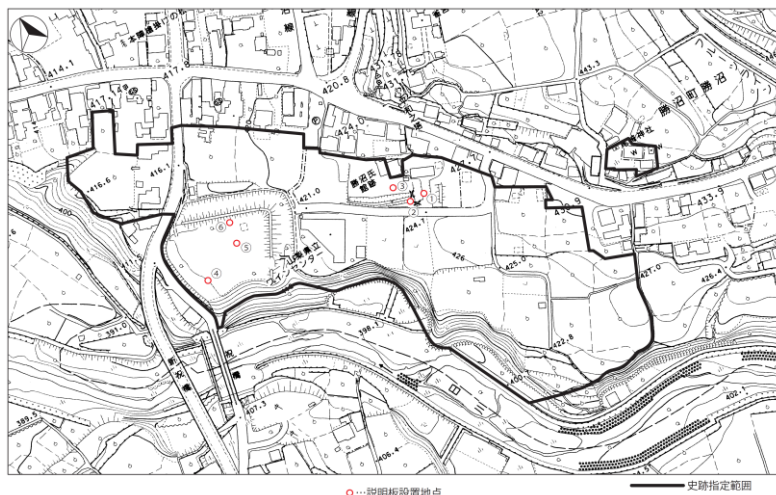
③設置状



②設置状



①設置状



④設置状



⑤設置状



⑥設置状

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～ 令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内に所在する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物を指定し、適切な修理・修景を行うことで、公開施設やガイダンス施設として活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定している神部神社本殿屋根と西藤木の水車について、経年による劣化が著しく修繕を計画した。神部神社本殿については、屋根材の変更等の要望があり令和2年度に関係各所との打ち合わせを続けていく。また、西藤木の水車については、事業化する中で関係課との調整が必要である。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



神部神社本殿(神社)
【塩山上萩原】



西藤木の水車(水車小屋)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
農業基盤整備促進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～ 令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 狭い農作業道の整備を実施し、農業経営の安定や農作業の効率化を図るとともに、担い手への農地利用集積を促進し、生産組織の育成や強化を推進することで、生産量の向上及び安定を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

基盤整備促進事業(農業基盤整備促進事業)により、「農道上岩崎12号線測量設計」を行い、周辺農耕者の農業効率と生産性の向上を図った。(延長L=294m)

令和2年度 工事着手、令和3年度 完成予定

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

農道上岩崎12号線改良工事



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
甲州市農村ワーキングホリデー事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	農業に関心のある人と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度で、ブドウやモモ、スモモの栽培にかかる作業やコログキづくりにかかる作業を、受入農家に寝泊りして行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「農村ワーキングホリデー」事業として、モモ、スモモ、ブドウ、野菜等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図った(令和元年度実績:受け入れ28人 1泊2日、期間:10月2日～2月27日)。 ・「甲州市大菩薩バレー農業・農村体験ツアー」事業として玉宮地区の98winesを中心に、醸造体験ワークショップ、ブドウ畑の石積みワークショップ、ブドウ畑の棚掛けワークショップ、野菜収穫体験、地域の食材を使った料理教室を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「甲州市大菩薩バレー農業・農村体験ツアー」事業

甲州市大菩薩バレー農業・農村体験ツアー開催のお知らせ

- ・甲州市道山北部地域・大菩薩バレーは、日本百名山「大菩薩嶺」のふもとに広がるモモ、スモモ、ブドウの栽培が盛んな地域です。
- ・この地において昨年新たに始動したワイナリー「98wines」と重要伝統的建造物群保存地区に建つ茅葺屋根の古民家「もしの家の家」が連携し、もしの家の家に宿泊し、農業体験や98winesでのワイン醸造、ブドウの棚掛け作業、石垣積み体験する「甲州市大菩薩バレー農業・農村体験ツアー」を実施します。
- ・宿泊及び体験料は無料です。ただし、現地までの往復の交通費、食費は個人で負担ください。
- ・作業内容は基本メニューの通りです。お友達・グループでお申し込みください。
- ・なお、スケジュール内容は、参加者ご希望によって変更も可能ですのでご相談ください。

甲州市大菩薩バレー 農業・農村体験ツアー概要

★コース日程

10:00 98wines集合
10:30 体験作業開始
12:00 昼食(お弁当もご用意します)
16:00 体験作業終了
夕食 各自お上がりいただきます。(実費)
宿泊 古民家「もしの家の家」
夜更のぐう星はご用意しません。各自お持ちください。
タオル、歯ブラシ等はご用意します。
朝食 各自お上がりいただきます。(実費)
9:00 体験作業開始
12:00 体験作業終了
作業終了後解散
集合場所 甲州市道山北部地区玉宮250-1
電話 0556-32-8098
宿泊場所 甲州市道山下小田原1099
電話 080-8820-9339

★体験農作業 基本スケジュール

① 農場整備体験 10月27日(土・日)
② ブドウ収穫体験 10月19日(土・日)
③ 石垣積み体験 11月20日(土・日)
④ ブドウ棚作り体験 12月14日(土・日)
⑤ ワイン醸造体験 2月15日(土・日)

※注意事項

- ・食事費用については、個人負担をお願いします。(※1泊2日滞在を除く)
- ・宿泊までの移動は各自の対応をお願いします。
- ・1泊の泊費は7名までです。グループでお申込みください。希望者多数の場合は、遅らせていただきます。

主催「甲州市北部地区活性化推進協議会」
お問い合わせ先「甲州市民 農林振興課 産地農林科」
電話 0553-32-5092 FAX 0553-32-5114
Mail:nourinshinkou@city.koshu.lg.jp

【 実績報告書 】

甲州市大菩薩バレー 農業・農村体験ツアー報告書

開催日時	令和 元 年 10 月 2 日(土)・3 日(日)
開催場所	山北部地域
参加人数	28 名
参加団体	アパロ(山梨県) 他、甲州市民(市外)
参加団体	もしの家の家
日 次	2 日 目(土) ブドウ棚作り体験・調理・ブドウ園地・夜更(実費 18 名)
10:00	・棚掛けに協力、古民家「もしの家の家」に宿泊、夜更準備の開始
12:00	・朝飯の調理開始
13:00	・ブドウ園地・夜更準備開始(調理・夜更) ① 夜更準備(古民家・夜更) ② 夜更準備(古民家・夜更)
15:00	・夜更準備開始 古民家「もしの家の家」
17:00	・夜更準備終了(一泊) 終了後各自各自の部屋へ移動 【夜更準備】もしの家の家
2 日 目(日) 2 日 目(日) 農と食の連携による地域活性化の推進(農と食の連携)	
9:00	・もしの家の家に宿泊して農と食の連携の推進
12:00	・夜更準備の開始(古民家・夜更) ① 夜更準備(古民家・夜更) ② 夜更準備(古民家・夜更)
15:00	・夜更準備開始 古民家「もしの家の家」

報告書作成(アパロ)と報告書作成(アパロ)と報告書作成(アパロ)



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
於曽屋敷環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～ 令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 於曽屋敷は中世豪族の屋敷跡で、これを公有化し整備するとともに、周辺に駐車場やトイレなどの公益施設を配置し、公園として利活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

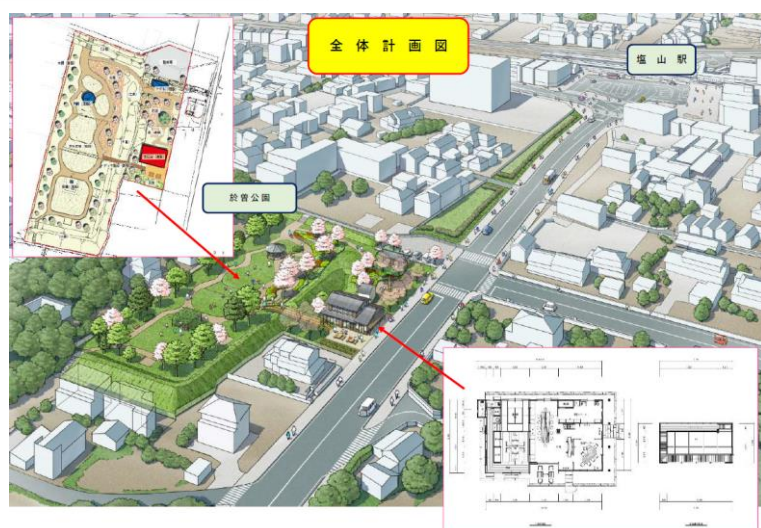
都市再生整備事業基本計画の中心に於曽屋敷と於曽公園が位置付けられ、本年度については周辺道路環境整備のための計画が作成された。於曽公園東西の道路を拡幅し、駅と公園周辺の利便性を向上させる。また、南北の道路を拡幅することでJR塩山駅北側にある文化財施設「旧高野家住宅(甘草屋敷)」とのアクセスを向上させ、ひと町に優しい道路整備を進めていく。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～ 令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区について、駐車場やトイレなどの公益施設の整備を行い、地区内の環境を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度については、環境整備として所有者が管理できない土地や共有農地の草刈りなどを実施し、環境美化を推進した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

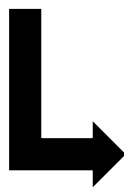
☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

計画にあたり、地区内の土地所有者との交渉が難航した。今後は甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業と併せて、伝建地区内での住民との密なコミュニケーションを取りながら、住民要望を押さえつつ計画を実施していく。

状況を示す写真や資料等



草刈り前



草刈り後

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
市内伝統芸能・祭典継承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～ 令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内で行われる伝統芸能・祭典などについて、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供するとともに、補助金を交付するなどの支援を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、市内5つの団体に補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。なお、一之瀬高橋の春駒については、7月に国立劇場にて公演を行い、広く魅力を発信した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		担い手の高齢化等もあり、積極的に魅力ある伝統芸能の継承のため若者に啓発を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

甲州市の継承すべき伝統芸能・祭典



藤木道祖神祭太鼓乗り(甲州市指定 無形民俗文化財)



熊野神社御幸行列(甲州市指定 無形民俗文化財)



田野十二神楽(山梨県指定 無形民俗文化財)



一之瀬高橋の春駒(山梨県指定 無形民俗文化財)



柏尾の藤切祭(山梨県指定 無形民俗文化財)



一之瀬高橋の春駒国立劇場公演(R1.7.27)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史文化の発信事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～ 令和3年度

支援事業名 市単独事業(歴史的風致活用国際観光支援事業)

計画に記載している内容 甲州市を訪れる観光客が、甲州市に点在する歴史的建造物や名所・旧跡を見学しやすいように、案内板や説明板、誘導標識などの公共サインを設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度については、案内板等の設置事業は実施されなかったがSNS等を通じて、多くの情報を発信した。
令和元年度については、日本遺産「葡萄畑の織りなす風景」認定に伴い、構成文化財である大善寺(とJR勝沼ぶどう郷駅前)の説明看板の設置事業への協力を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

公共サインに関しては、引き続き関係課と連絡を取り合いながら国内外の観光客に優しいサインの設置を実施していく。また、情報発信の面ではSNS等の利活用方法を検討し効果的な発信と外国語への対応を検討していく。

状況を示す写真や資料等

大善寺 設置看板



JR勝沼ぶどう郷駅 設置看板



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

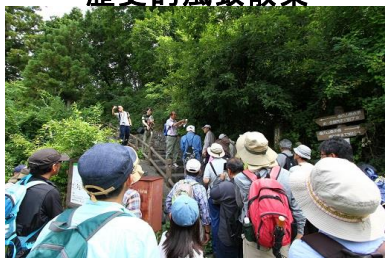
項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致散策・景観形成協働事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～ 令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、各歴史的風致の散策会を定期的に開催するほか、散策で気付いた点について、市民などと協働して、農業用ネットの交換やガードレールの景観色塗装など、景観形成協働事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、5回現地散策を計画したが10月実施予定であった散策は台風の影響で中止した。歴史的風致の解説を加えながら現地を散策することにより、地域が培ってきた歴史や文化、それによって形成されてきた集落や町並みへの理解を深めることができたと思われる。周知とともに、参加者の方々から貴重なご意見をいただくことができた。また、景観形成の一環として、市民との協働によりガードレール等の景観色への塗り替えも予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

歴史的風致散策



【第19回大和地区(H31.4.28)】



【第20回塩山地区(R1.6.23)】



【第21回勝沼地区(R1.8.31)】



【第21回勝沼地区(R1.12.8)】



【第19回歴史的風致散策 チラシ】

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財の保存又は活用の現状と今後の方針		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	本市には、令和2年3月時点で国指定文化財29件(うち、国宝3件)、山梨県指定文化財82件、甲州市指定文化財154件の、合計271件の有形・無形の文化財が所在している。 これらの指定文化財は、文化財保護法や山梨県文化財保護条例、甲州市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引き続き保護のための措置を講ずる。その一方で、指定されていない歴史的・文化的価値を有する未指定文化財も数多く所在し、本市の歴史的風致の維持向上を図るうえでも、これらの未指定文化財も保存・活用を図ることが重要である。 文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解するうえで必要不可欠なものであるため、調査を行い、価値が判明したものについては市指定や国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備や防災対策等を行う。
-------------	---

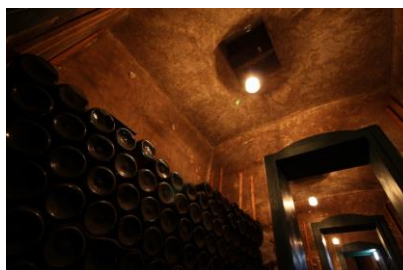
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に点在する文化財について、現状の調査・再点検等を行い、文化財価値の向上と保存、維持の方針を検討した。令和元年度は、市内で新たに6件の建造物が登録有形文化財(建造物)に登録され、文化財保存環境の整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和元年度に新規登録された甲州市内の登録有形文化財(建造物)



【丸藤葡萄酒工業旧醸造蔵 外観】 【丸藤葡萄酒工業瓶貯蔵庫 内観】

文化財の所在地: 甲州市勝沼町藤井776番地 他



【勝沼醸造主屋兼事務所 外観】 【勝沼醸造樽貯蔵庫 内観】

文化財の所在地: 甲州市勝沼町下岩崎371番地 他



【くらむぼんワイン旧主屋 外観】 【くらむぼんワイン ワインセラー 内観】

文化財の所在地: 甲州市勝沼町下岩崎835番地 他

丸藤葡萄酒工業旧醸造蔵

土蔵造2階建、切妻造平入

建築年代: 明治前期

改築年代: 大正後期増築

丸藤葡萄酒工業瓶貯蔵庫

鉄筋コンクリート造

建築年代: 昭和33年

改築年代: 昭和35年増築

勝沼醸造主屋兼事務所

木造2階建、切妻造平入

建築年代: 明治後期

勝沼醸造樽貯蔵庫

土蔵造り2階建

建築年代: 昭和24年頃

改築年代: 平成12年改修

くらむぼんワイン旧主屋

木造2階建、切妻造檼瓦葺

屋根中央に越屋根を載せた

養蚕型民家

建築年代: 明治後期／大正9年移築

くらむぼんワイン ワインセラー

木造2階建 上屋の直下に地下室

ブドウ冷蔵庫の遺例

建築年代: 明治後期

改築年代: 昭和前期増築

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

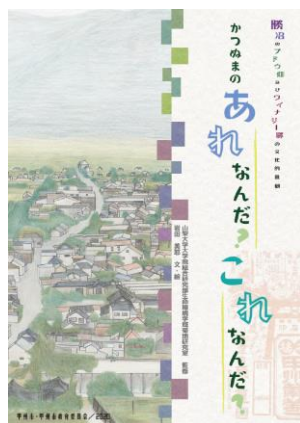
項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本市には多くの有形・無形の文化財が所在しており、指定・登録件数は山梨県一である。これら文化財の保存・活用を図りながら展示できる施設や、文化財について総合的な情報発信拠点施設の検討が必要である。当該施設としては、重要文化財旧高野家住宅、甲州市近代産業遺産宮光園、旧田中銀行博物館、ぶどうの国文化館があり、それぞれの施設の特性を尊重しながら、活用や情報発信に努めているところである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市が管理する文化財施設については、情報発信の手段として音楽、芸術、民芸等とのコラボレーションにより集客を行いつつ、外部の人々への情報発信や地元住民への文化財の価値の認識や保存に対する啓発を行った。また旧高野家住宅においては、敷地内の文庫蔵を利用した子ども図書館(塩山図書館分館)を開館しており、地域住民に親しみやすい文化財として活用をされている。 また、令和元年度は市内寺院(恵林寺、向嶽寺)において音楽イベントを開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 重要文化財 旧高野家住宅(甘草屋敷) 平成31年 2月11日～4月18日 第17回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり 令和元年 8月25日 気軽に落語を楽しむ会 令和2年 2月11日～4月18日 第18回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり 【旧高野家住宅(甘草屋敷)】  【塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】  【気軽に落語を楽しむ会】  【H31.4.15恵林寺事コンサート】  【R1.9.7向嶽寺ヴァイオリンコンサート】			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	重点区域「勝沼地区」では、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」について文化的景観の調査を行うとともに、山梨県及び山梨市・笛吹市と共同で取り組んでいる「峡東三市による日本農業遺産・世界農業遺産登録」により、ブドウ畑の景観を残すこととする。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群」をテーマに、山梨県内初の国の重要文化的景観の選定を目指した取り組みを行っている。令和元年度は、平成28年度から30年度までの調査結果をもとに、保存活用計画の検討を行い保存活用計画策定事業報告書(案)を作成した。保存活用計画策定にあたり、外部有識者と地元住民代表者から成る、甲州市文化的景観保存活用計画策定委員会を設置、2回開催し、方針や内容に対して意見を聴取した。 普及啓発としては、地域住民へ広く周知を図るべく、平成30年度に刊行した『勝沼のブドウ畑及びワイナリー群文化的景観調査報告書』の概要版を作成・刊行、文化的景観に関連する講座・散策イベントを開催、広報紙「かつめま旬報」を年4回発行し、当該地域の全戸へ配布し、周知を図った。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

文化的景観調査報告書概要版



子ども向け(学校教育)概要版
令和2年2月28日刊行



一般向け概要版
令和2年3月9日刊行

広報紙「かつめま旬報」



令和元年6月1日 vol.4刊行
 令和元年9月1日 vol.5刊行
 令和元年12月1日 vol.6刊行
 令和2年4月1日 vol.7刊行

甲州市文化的景観保存活用
計画策定委員会

- ・令和元年11月11日第1回策定委員会
- ・令和2年2月7日第2回策定委員会

ワークショップ・イベント



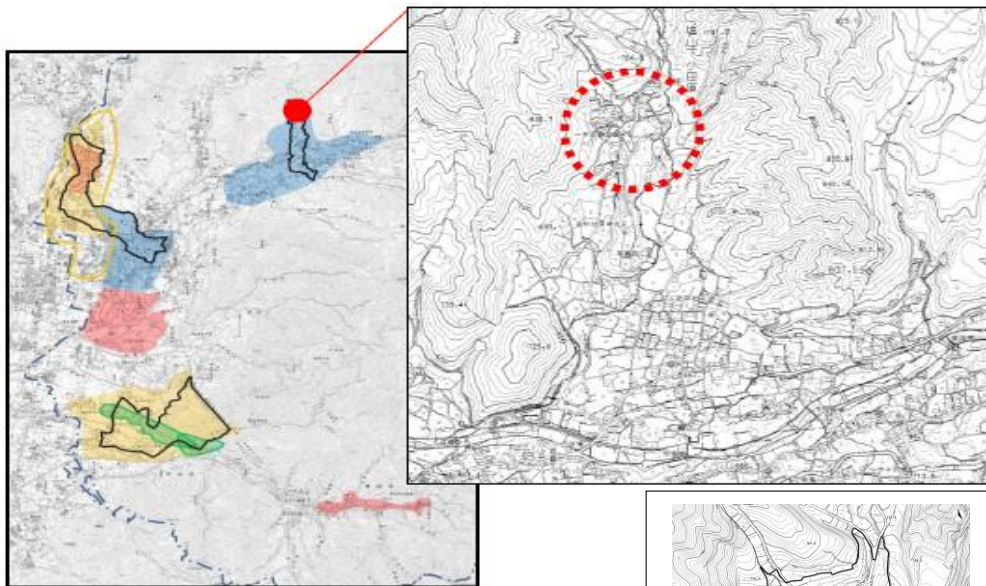
- ・令和元年6月21日 地形・地質から文化的景観を学ぶ講座
- ・令和元年8月31日 日本ワイン発祥の地「祝村」を巡る散策
- ・令和元年12月8日 地形・地質の視点からみる文化的景観を学ぶ見学会
- ・令和2年2月28日 文化的景観シンポジウム(中止)
 新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となったが、市ホームページにおいて、文化的景観シンポジウム成果公表した。

評価軸④-4

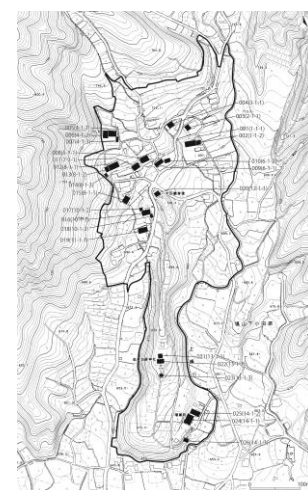
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する具体的な計画		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	重点区域「神金地区」にある甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の多くは木造であり、傾斜地を造成して宅地としていることから、地震や火災が発生すると倒壊や火災の延焼などにより、被害が保存地区の広い範囲に及ぶことが予想される。そのため、所有者や上条組、地元消防団などと協議を行い、自主防災組織を強化するとともに、今後策定する防災計画に基づき、必要な防災施設の整備等を実施する。また、所有者等と協議して、個々の伝統的建造物に対して耐震補強を行うなどの取り組みを行う。さらに、歴史的景観に配慮しつつ防犯灯を整備し、防犯対策や美術工芸品等の有形文化財が盗難に遭わないよう、地区の意識啓発に努めていく。		
	定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
平成28年度から29年度にわたり、防災計画策定に向けての現地調査を工学院大学に委託し実施し、調査結果の取りまとめ状況を甲州市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催して報告、審議を行ってきた。平成30年度、令和元年度予定をしていた補足調査、地元住民へのヒアリング調査について、計画どおり進捗できなかったため、令和2年度も引き続き調査、検討を行う。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		調査に一部不足がみられたことと、防災計画の要となる公営水道の事業遅延により、報告書刊行まで至らなかった。防災計画策定は来年度以降とし、以後は計画に基づき防災事業を実施する。 文化財毎に管理体制や管理状況に違いがあり、対応や対策については各管理者と文化財の状況を鑑みて、無理のない対策を講じられるように協議を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区 位置図



上条伝建地区は、標高が700mほどの山間の集落で、水道は集落で引いた小規模水道を使用しており、大きな河川もないため、防災用の水源確保が難しい。



保存地区範囲と伝統的建造物(建築物)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。

A traditional Chinese armor piece, possibly a breastplate or surcoat, featuring intricate embroidery and a decorative collar. The armor is displayed against a dark background, highlighting its detailed patterns and textures.

国宝「櫛無鍔」を公開
 甲州伊豆山王新緑の菅田天神社（系統式内宮）は、白
 武田家へと伝わり、小幡
 一と号せられた「櫛無鍔」や、櫛
 威、鍔、大袖付を6年
 ふりに一焚く神事。

【山梨日日新聞 令和元年7月9日掲載】

バイオリン演奏
寺で100人が堪能
甲州・向嶽寺
甲州市教委はこのほど、同
市塩土上於曾の向嶽寺で、市
ゆかりの演奏家らによるバイ
オリンコンサートを開いたり
写真。

掲載日:2019年09月17日/地域/紙面頁019
紙面・記事・写真・イラスト等の無断掲載・転用はお断りします。Copyright 山梨日日新聞社

【山梨日日新聞 令和元年9月17日掲載】

萩原家住宅で
お点前を披露
勝沼で大学生が茶会
甲州市教委は5日、同市勝
沼町で、化財
で、
を開
山

国大生の主には、音楽系
 の学生が多い。写真
 師、音楽家、文
 学研究者、演劇
 関係者、音楽家
 の子孫など、音
 楽に愛着のある
 学生が多い。

12人は東京音楽大学に
 在籍し、音楽系を専攻
 する学生を、市役所
 の若年人部と音楽を
 振る舞った。芝居、
 大団に造れた主の
 特徴を、音楽と
 音楽家を紹介した。
 音楽は、勝沼市で
 開かれた、かつめ
 どもまつり、の関
 ペントして初めて企
 画。音楽は非常に
 あり、音楽家、音楽
 系、音楽家を主
 として、音楽家を
 放した。

掲載日: 2019年10月11日 / 地域 / 福島県内25
 掲載日: 2019年10月11日 / 地域 / 福島県内25

掲載日:2019年10月11日/地域/紙面頁025
新聞・記事・写真・イラスト等の無断転載・転用はお断りします。Copyright 山梨日日新聞社

【山梨日日新聞 令和元年8月3日掲載】

【山梨日日新聞 令和元年10月11日掲載】

項目		評価対象年度	令和元年度
歴史的風致に対する認識向上と情報発信			
計画に記載している内容	本市の維持向上すべき歴史的風致は、本市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、本市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものと考えている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
JR東日本との良好な関係を示すように、令和元年度も引き続き豪華寝台列車「TRAIN SUITE四季島」が本市のJR塩山駅へ立ち寄るルートが設定されており、甲州市近代産業遺産宮光園が見学地に選定され、四季島の乗客に宮光園の素晴らしいと勝沼のワインの歴史をお知らせするとともに、甲州市の文化財や地域の魅力、観光についてパンフレット配布等により普及・啓発を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	昨年度に引き続き、宮光園は、豊かで上質な旅時間の提供をコンセプトとした「TRAIN SUITE四季島」の見学地に選定されたことや、市外や県外への認知度も上がり順調に入館者数を伸ばした。これを宮光園だけの効果に留まらせないためにも、他の文化・観光施設や固有の資源・サービスを連携させ、広域的かつ効果的な情報発信の方法を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
「四季島」塩山停車を継続  JR東日本は2020年度4～6月期の豪華寝台列車「トランススイート四季島」(JR東日本提供)の運行予定を発表し、山梨を含む甲信越、東北地方などを巡る1泊2日コースは継続することが決まった。JR塩山駅に停車し、乗客が甲州市や笛吹市を観光する。1泊2日コースは、東京・上野駅を出発し、甲州市の塩山駅に停車する。その後、長野・姨捨駅、福島・喜多方駅、会津若松駅を経て、上野駅まで戻る行程。塩山駅では下車し、甲州市の近代産業遺産「宮光園」(旧白化産業遺産)や宮崎葡萄酒醸造所、や笛吹市内のワイナリーを観光する予定だ。 光する予定だ。同社は「里山や棚田、ふどう畑などぬくもりある風景や、その地の工芸品の粋を味わう旅とした」としている。 四季島は17年5月に運行を開始し、18年度は26本が県内を走行し、19年度も県内がコースに含まれている。20年度は4月18日～6月27日の毎週土曜日に運行する予定となっている。 1泊2日コースは、2人1室利用で1人37万円から、1人1室利用で1人55万5千円から。同社のホームページなどで申し込みを受け付けている。(小池直輝)			
「TRAIN SUITE四季島」塩山停車を継続 (令和1年7月21日 山梨日日新聞)			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:	
会議等の開催日時:	年度末に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月28日付けで、甲州市歴史的風致維持向上計画協議会の委員の方へ進捗評価シートを郵送。6月12日を締切にし、意見集約を行った。
(コメントの概要) ○特になし。	